

事務事業マネジメントシート(令和5年度実績と令和6年度計画)

令和6年8月26日更新

事務事業名		総合健康センター施設維持管理事業				マニフェスト 関連		全庁横断 課題関連		集中改革 プラン関連	
総合 計画 体系	政策 施策 施策の柱	1 2 12	自治の健康 行政改革の推進 公有財産の管理運営	所属部 所属課 所属班	産業振興部 商工振興課 商工振興班	課長名 担当者名	榮峰男 大茂竜二	(内線) 5215			
予算科目	会計 一般	款 7	項 1	目 2	事業連番 11284	根拠 法令	合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」条例 指定管理者協定書				
終了、開始年度		□ 5年度で終了	□ 5年度から開始	事業期間	□ 単年度のみ □ 期間限定複数年度	□ 単年度繰返 (開始年度 ～ 年度)	18				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	平成13年7月、西合志町総合ふれあい健康センター「ユーパレス弁天」が開館。(管理運営業務を㈱にしうしに委託)地方自治法改正に伴い、管轄委託制度から指定管理者制度に移行し、第1回目の指定管理者協定を㈱にしうしに平成18年8月～平成21年9月の期間で締結した。○合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」の施設維持管理事業。○新規委託協定に基づく、合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」の施設維持管理事業。○新規指定管理期間は、平成21年10月～平成24年3月であり、平成23年3月に指定管理者更新を行い、引き継ぎ㈱にしうしを平成24年4月から平成26年3月までの2年間、指定管理者として指定した。○平成23年度に「大規模改修検討委員会」を開催し、開館後10年経過し老朽化が著しい施設の大規模改修の内容を検討した。○平成24年度に「大規模改修検討委員会」の答申に基づき、改修設計委託業務を行った。○平成25年度に「大規模改修検討委員会」の答申に沿って改修工事を行った。○平成26年度から新たな指定管理者による運営を行った。(平成30年度まで)○平成31年春に北熊本スマートインターチェンジの開通見込みであったことから、設備と特定天井の大規模改修を1年先に延ばし、平成31(令和元)年度は昨年度までの指定管理者に運営させることになった(12月議会上程)。○令和元年度は、令和2～5年度(4年間)の公募により指定管理者を選定を行うとともに、施設の保全計画・改修計画策定を行った。○令和2年度は、特定天井の耐震化工事及び温泉熱設備導入工事を行う。○令和4年度より、業務委託による運営を行った。○令和5年度は、屋根外壁等改修工事を実施。
【業務の流れ】	施設の運営および維持管理を業務委託により実施。 ○アドミッションへの行政財産借用料金と行政財産使用料収納業務 ○合意事項の確認と運営方針の策定と行事開催業務及び毎月の支払い業務 ○施設業務委託の契約業務及び毎月の支払業務 ○水道及び電気料金の毎月の支払業務 ○合計年度任用職員3名の賃金支給業務 ○必要な消耗品および施設等の修繕の実施
【主な予算費目】	委託料、人件費、消耗品費、施設修繕費、工事請負費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	老朽化による故障や不良により、利用者へ不便をかける頻度が増加している。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)	6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
公開型プロポーザルによる事業者選定を経て、受託者を決定し、株式会社アスクメンテナンスと契約を締結した。受託者の業務報告により、委託業務内容を精査し、毎月に委託料を支払った。光熱水費については、各種契約を締結し、毎月の請求に伴い、支払いを行った。専任の職員については、報酬支払い業務(会計年度任用優先職員の人事制度)と、金額の請求に伴う面接等業務を行った。修繕については、業務報告から優先順位を決めて上位に並んで順次行った。(管財課契約の下、屋根・外壁等改修工事を行った。)成果として、市民の健康増進と腰わい創出を支援し、約40万人の来館者となった。また、今後の運営方針等を含めた、あり方等検討委員会を設置し、検討会議を行った。結果については、来年度へ持ち越し、検討継続となった。	・今年度に引き続き直営での施設運営を行っていく。 ・あり方等検討委員会にて決定した今後の運営方針に基づき、事務手続き等を進める。 ・保全計画に基づき必要箇所の修繕工事を行う。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	予算の主な増減の理由
ア:修理箇所 イ:修理等金額	屋根外壁改修工事完了に伴う工事請負費の減
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」施設利用者	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
ア:来館者 イ:	千人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 利便性・安全性を確保する	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
ア:修理箇箇所数 イ:苦情・要望の対応件数	%
※③成果指標設定の理由と6年度目標値設定の根拠 利便性・安全性の確保につながる施設修理済箇所の割合及びお客様からの苦情・要望対応件数割合とした。 施設大規模改修工事が終了すれば、施設の要修理箇所はなくなる。また、お客様の苦情や要望等で施設の老朽化に伴うものに対応できるため、平成25年度からは、施設修理済み箇所割合は100%、苦情・要望の対応件数割合は80%と設定した。	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移			単位	3年度実績(決算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	5年度実績(決算)	6年度目標(当初予算)	7年度予定	8年度見込	9年度見込
① 活動指標	ア:件 イ:千円	4 9,601	25 11,517	4 36,000	22 123,993	4 36,000	4 36,000	4 36,000	4 36,000	4 36,000	4 36,000
② 対象指標	ア:千人 イ:	338	371	530	395	530	530	530	530	530	0
③ 成果指標	ア:% イ:%	100 100	100 100	100 80	100 100	100 80	100 80	100 80	100 80	100 80	0
投 入 量	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 繰入金 一般財源 (A) 事業費計 (A)のうち指定経費 (A)のうち時間外・特勤 人 件 費	千円									
	正規職員従事人数 延べ業務時間 (B) 人件費計 トータルコスト(A)+(B)	人 時間 千円	4 640 2,502 72,083	1 800 3,044 228,118	3 0 0 416,635	2 1,200 4,370 325,741	2 1,000 3,984 264,927	2 1,000 3,984 250,519	2 1,000 3,984 186,519	2 1,000 3,984 204,519	

合志市

事務事業名	総合健康センター施設維持管理事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (C H E C K)

*原則は 5年度の事後評価、ただし複数年度事業は 5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 適切に改修工事を実施し、対応したため。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因 ↗】
	② 6年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由 ↗】 施設の老朽化が進んでいるが、点検を徹底し、改修の必要性がある部分を洗い出し、計画的に改修を実施することで、適切な維持管理を行なうことができる。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策 ↗】
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由 ↗】 施設の老朽化に伴い、今後施設の維持管理上の修繕要望は予想されるため向上の余地はある。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由 ↗】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由 ↗】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由 ↗】 施設運営については専門的な管理技術が必要であり、その手法として、維持管理・業務委託を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由 ↗】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗】 当該施設における多くの機械設備が更新時期を迎えており、省エネルギー化を図る等、経常費の削減に取組む余地はある。施設の運営管理についても、再度指定管理者制度にすべく、運営の在り方について検討する必要がある。	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗】 指定管理制度に戻るまでは、必要最低限の人員であるものの、直営の期間は、運営業務委託に包括させることができれば、削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗】 利用者は、サービスの対価として利用料金を支払うが、施設の維持管理費にあわせ、料金の見直し（値上げ）も検討すべきである。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由 ↗】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗】 市の施設であるため、その施設の維持管理は当然行政が行なわねばならない。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由 ↗】

3 評価結果の総括 (C H E C K)

業務委託業者と連携を取りながら、改修箇所の確認と改修工事を行い、適切な施設管理を行なうことができた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）(A C T I O N)

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善（有効性改善）
事業のやり方改善（効率性改善） 事業のやり方改善（公平性改善）
現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

成 果	コス ト		
	削 減	維 持	増 加
向 上			
維 持			
低 下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策